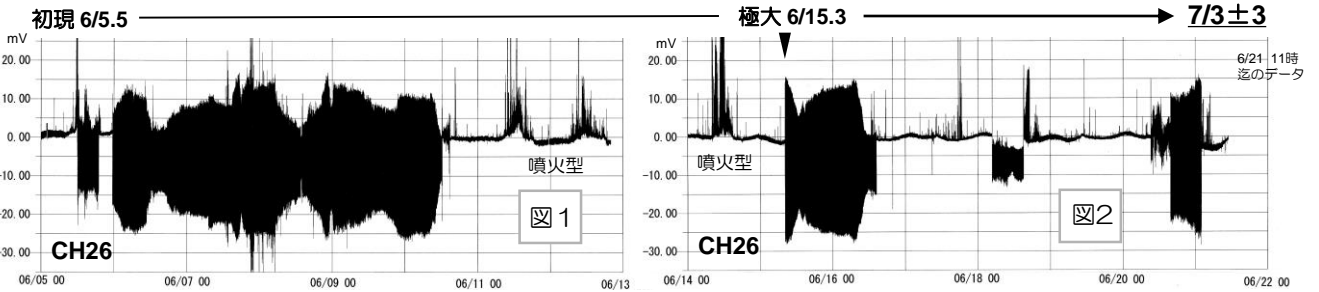
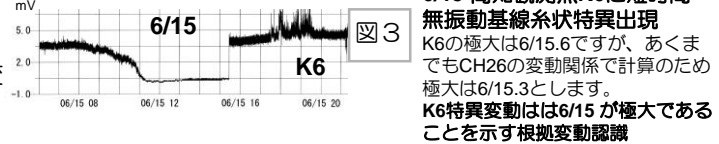


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様へ配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

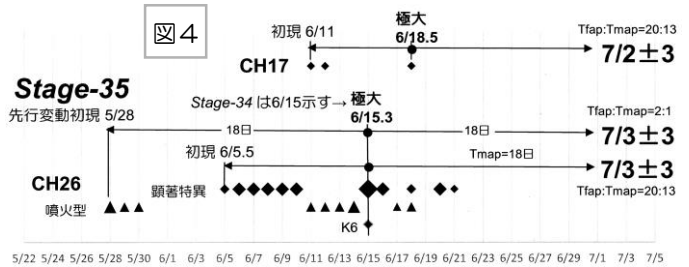
No1778 Stage-35 6/15 極大認識 → 7/3 ± 3 対応地震発生の可能性 現状修正なし
火山噴火型変動は Stage-35 変動の一部で震源に近い火山噴火の可能性は低い見解



◆前情報で、Stage-34 が示した 6/15 が Stage-35 の極大か、初現か 2つの可能性が否定できませんでしたが、図3のとおり、6/15に高知観測点のK6に短時間の無振動基線系状特異変動が観測されました。従いまして、6/15は極大である認識。



◆図4を参照下さい。Stage-35は6/15極大認識ですが、5/28からの噴火型変動を先行変動初現としますと、同じ7/3 ± 3を示すことになり、また顕著特異と噴火型が補完するような形で出現していることから、5月下旬以降出現した噴火型変動は、震源に近い火山の噴火を示すのではなく、Stage-35の変動の一部である可能性が高いと考えます。従いまして、現状では、地震発生に伴う火山噴火の可能性は低いと考えます。噴火型は熊本地震同様、火山近傍地震を示すと考えます。図4のCH17は6/18に無振動基線系状特異が観測され、6/11出現と合わせた場合の参考推定です。



●推定領域：図5の実線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域

●推定規模：
主震＋余震型の場合＝ M8.0 ± 0.3 (M7.7～M8.0の可能性高い)
または複合地震活動＝複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で合計で110～150km程度となる様な
複合地震活動の可能性有 (例：M7.1 ± 0.3 + M7.3 ± 0.3 等)

※地震発生に伴う震源に近い火山での噴火の可能性は現状では低い

●推定時期：7/3 ± 3 ※今後の観測で修正の可能性も有

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震

○推定発生時刻：
午前 8時30分 (または午前9時) ± 2時間 or 午後 6時 ± 3時間
(複合地震では当てはまらない場合有)

※18年継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。対応地震が推定に近い内容で発生した場合でも被害が少ないことを祈ります。

No1778初現は2008.7/4、仮に7/3 ± 3発生となる場合は、変動期間は満18年となる

図5

影響局からの検知ドーナツ円 (領域推定の作図線) を消した図で表示

※HP担当の方が海外出張のため
6/22、23は更新不可。24～30
は24時間以上遅れるか不可の
可能性があります。
ご了承ください。

